

水辺のふるさと かつしか 冬号

2020.9-11

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル：アオスジアゲハ「きれいでしょ」

撮影場所：新宿

写真提供：瑛ちゃん

目次

- 1 55種の動植物調査結果 P 2
- 2 自由レポート P 3～16
- 3 季節の写真集 P 17～19
- 4 冬号の豆知識 P 20
- 5 魚からの便り P 21～24
- 6 環境課からのお知らせ P 25～27



(元)編集担当からのひとこと



お久しぶりです。齋藤です。

環境課にきて4年目になりますが、まだまだ知らないことがたくさんあると日々感じます。先日、カラスの視覚についての記事を読みました。カラスは人間よりも色彩豊かな生活を送っているというもの。それはなぜかということ人間は3原色なのに対し、カラスは「紫外線」を含めた4原色で視認できるそうです。さらには油球と呼ばれるフィルターを網膜に持ち、色の識別の精度を高めているそうです。普段見ているカラスでもまだまだ知らない世界がたくさんありますね。他にも、カラスは一人遊びも得意だそうで、空から物をわざと落として地面スレスレでキャッチするなんて遊びもするそうです。最近カラスを見かける機会も多いですが、よく観察してみるといろいろ発見があるかもしれません。2020年はコロナウィルスが流行し、外出する機会も減ってしまわれたかと思います。2021年も体に気を付けて十分にコロナ対策した上で自然観察をしていただければと思います。



55種の動植物 調査結果（9月～11月）

【調査区2】 計20種

〈鳥類〉 コガモ、コサギ、
 〈昆虫〉 アキアカネ、オオカマキリ、エンマコオロギ、カンタン、
 アブラゼミ、ツクツクボウシ、クロアゲハ、ナミアゲハ、
 ツマグロヒョウモン
 〈植物〉 スギナ、**シロツメクサ**、セリ、オオバコ、ツユクサ、
ジュズダマ、ススキ
 〈爬虫類〉 **ミシシippアカミミガメ**
 〈底生動物〉 ベンケイガニ

【調査区3】 計15種

〈鳥類〉 コサギ
 〈昆虫〉 アキアカネ、エンマコオロギ、
 カンタン、ナミアゲハ、
 ツマグロヒョウモン
 〈植物〉 アカメガシワ、スギナ、
シロツメクサ、**イモカタバミ**、
アレチウリ、ツユクサ
 〈爬虫類〉 **ミシシippアカミミガメ**、
 ニホンカナヘビ
 〈クモ類〉 ジョロウグモ

【調査区1】

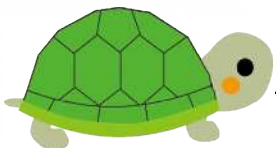
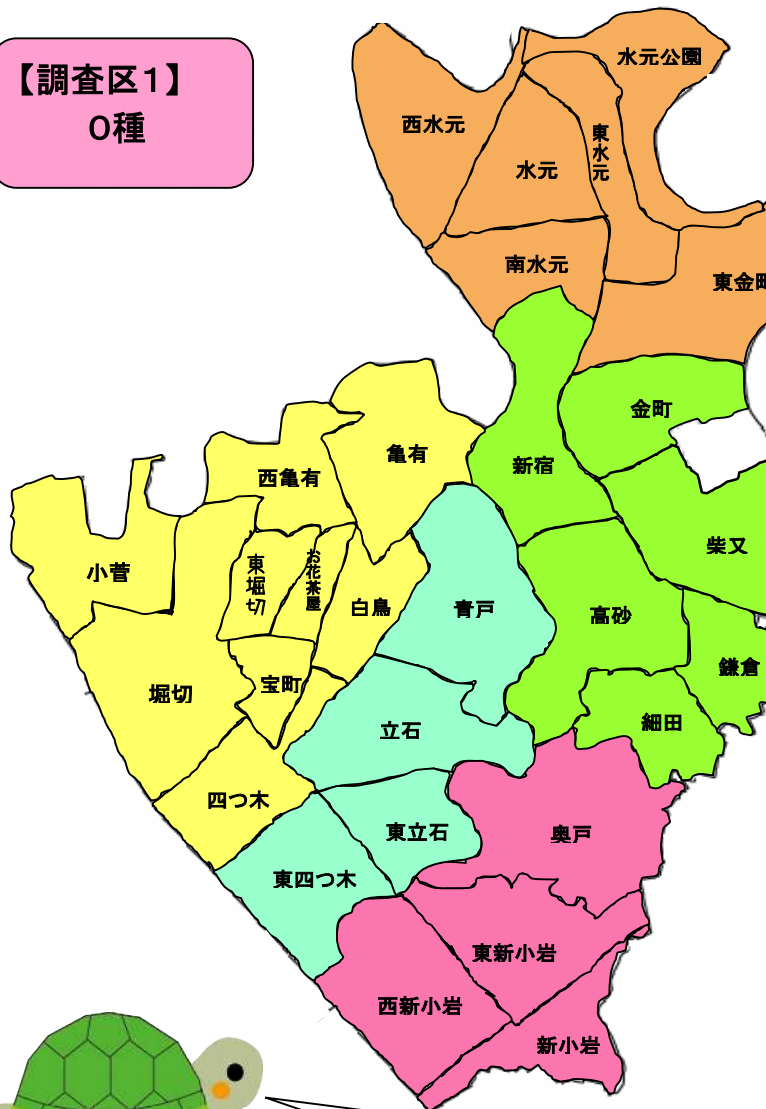
0種

【調査区4】 計5種

〈鳥類〉 コサギ
 〈昆虫〉 エンマコオロギ、ナミアゲハ
 〈植物〉 ツユクサ、**ジュズダマ**

【調査区5】 計24種

〈鳥類〉 コガモ、ウグイス、コサギ、カワセミ、
 シジュウカラ
 〈昆虫〉 ギンヤンマ、アキアカネ、
 オオカマキリ、エンマコオロギ、
 アブラゼミ、ツクツクボウシ、
 ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン
 〈植物〉 アカメガシワ、**シロツメクサ**、
アレチウリ、セリ、オオバコ、
 カントウヨメナ、ツユクサ、**ジュズダマ**
 〈爬虫類〉 ニホンカナヘビ、
 ニホンアマガエル
 〈クモ類〉 ジョロウグモ



赤字は外来種だよ

今年の秋景色

弥生さくら草



世界中でコロナが吹き荒れた年だった。マスクで顔を覆った人たちが挨拶を交わす。一瞬、誰だかわからなくて苦労するような奇妙な年だった。そうして春先から流行り始めたコロナは、特別な解決法も無いままに今年も終わりに近づいている。

秋から冬は蔓延が予想されて危機感で緊張する異常な季節である。それでも芳香を感じ、見てみると金木犀が盛りだった。ほととぎすも微妙な秋色で咲いて、見ごろである。ツワブキの黄色は秋一番の深みで染入るような美しさがある。秋を代表する菊花は、今盛りを迎えて美しさと香りで咲き乱れ、観る人々の足を止める。それはコロナ禍の時でも同じである。紅葉便りも諸所から聞こえて来る。日本に生まれて良かったと思う時である。

今日友人を訪ねたら思いがけない光景にびっくりした。友人のご子息は釣りを趣味にされていて、十月の初め頃、浦安での獲物はなんと**ヤドカリ**だった。彼はそれを持ち帰り飼育法を研究し、母子で飼育を始めたのだ。餌もその他の用具や設備を揃えて没頭され夢中である。見ると大豆ほどの小さな貝で、そこから可愛い**ヤドカリ**が出たり入ったりしている。5個の貝があった。更に驚いたのは全て名前がついている。スナ、サクラ、ジャノメなどと呼んでいる。その小さな貝が透明に澄んだ綺麗な水の中の世界はおとぎの国のようでいつまで見ても飽きることはない。宅急便で餌を依頼してまで飼育を実行する努力もさることながら、見れば素晴らしい世界に魅了され、こういう楽しみもあるのだ……と感銘を受けた日だった。メダカを飼ったことがあるが**ヤドカリの飼育**はもっと深いかも？でも世間にはメダカにも名前を付けるほど夢中になる人もおられるから、何とも言えない。



令和2年11月8日

更け逝く秋の日々

弥生さくら草



夏の名残の花々ともいよいよ別れる時が来て、暫くの間花の衣更えである。これから長い間咲く花の代表はすみれ堇である。安価で長い間咲き続ける。それも一度には持ち運べないので何回にも分けている。花屋と我が家の間を何回も往復する。それから満足するように植え終わると満面が笑みだと自分でも思う。葉ぼたんを植えたら年の瀬に近いような趣が漂ってくる。昔の葉牡丹は大きかったが最近可愛いミニが主流の様で、大きいのはあまり見かけない。夏の日々を彩った植物たちも冬越しの為日当たりの良い場所に移している。

十一月の初め頃だった。今まで記憶になかった筈のカニサボテンの鉢の葉の先端にピンク色のごく小さい米粒ほどの花芽がついていた。存在をすっかり忘れていた。やっと出番だと告げているようでびっくり……。この花は、花が大好きだった義母の置き土産で、義母が亡くなってから既に三十年を越えている。それなのに花の姿はその時よりもむしろ元気なくらいなのである。カニサボテンはあまり水を遣らず植え替えもしなくとも何とか生き延びてきたのだ。早速植え替え、たっぷり水をあげる。サボテンの鉢を洗い家の中の特等席に取り込むと毎日蕾が膨らみ次第に大きくなってゆく。それにつれて忘れていた義母と過ごした日々を纏わる思い出が甦る。今、蕾はゆっくりと育っている。小豆から落花生ほどになり私には至福のひとつときである。

令和2年11月24日

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩、東新小岩	調査区	1-4、1-3
----	-------	----	-----------	-----	---------



ハゴロモルコウソウ（羽衣縷紅草）
／ ヒルガオ科

西新小岩5丁目の中川左岸緑道のフェンスに一群となって、9月から咲き始め、11月になってもまだ次々と花をつけています。

アフリカ(インド)ハマユウ(浜木綿)
／ ヒガンバナ科

中川平和橋のたもとの小さい公園には、9月になるとアフリカハマユウがずら〜と咲いています。



ツゲノメイガ（柘植野螟我）

10月のはじめ、ガラス柵に、じっと留まっていた。名前を調べたら、ツゲの木を荒らす「害虫」だとか！・・・どこから来たのやら？でも、羽はきれいなスカートみたいです。オスカメスカわかりません



氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

9月20日(日)午前9時頃、天気は曇り(風なし)、気温は20度くらい。水元公園の水辺のいきもの館周辺。野鳥は、アオサギ(1)を見つけた。昆虫は、エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、ヤマトシジミ(3)を見つけた。植物は、カタバミ、ヤブガラシ、キンエノコロ、オギ、ヨシ、アメリカセンダングサ、ムラサキツメクサ、ツユクサ、チカラシバを見つけた。ヒツジグサの白花が咲いていた。クヌギの実が落ちていた。

9月21日(月、祝)午後6時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は23度くらい。亀有5丁目の自宅周辺。野鳥は、オナガ、ムクドリを見つけた。昆虫は、アオマツムシ、カネタタキ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギを見つけた。植物は、スタジイの実を見つけた

9月27日(日)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温20度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、オナガ、ムクドリを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ(7)、キアゲハ(1)、カネタタキ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギを見つけた。植物は、キンエノコロ、エノコログサ、ツユクサ、メヒシバ、オヒシバ、アキノエノコログサ、イヌタデ、シロザ、アキノノゲシ、イノコズチ、ヤブガラシ、ヘクソカズラを見つけた。サルスベリの花が咲いている。ヒガンバナの花も咲き始めた。柿やミカンの実もつき始めた。

10月4日(日)正午頃、天気は曇り(風少し有)、気温20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。昆虫は、カネタタキ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、エンマコオロギ、イチモンジセセリ(2)、ヤマトシジミ(4)を見つかる。植物は、ヨウシュヤマゴボウ(1)、アキノエノコログサ、キンエノコロ、アキノノゲシ、ヨシ、カタバミ、エノコログサ、メヒシバ、オヒシバを見つけた。キンモクセイやヒガンバナの花が咲いていた。柿の実が色づき始めた。

10月13日(火)午後4時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は23度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ(3)、オナガ(5)を見つけた。オナガがイモムシを食べているところを発見する。虫は、ジョロウグモ(1)、ヤマトシジミ(3)、コガタスズメバチ(1)、カネタタキを見つけた。植物は、エノコログサ、アキノエノコログサ、カタバミ、ヤブガラシを見つけた。ヤブガラシの蜜を吸っているコガタスズメバチを発見する。イロハモミジが色づき始め、ハナミズキの紅葉がすすんだ。サザンカの花芽もふくらんできた。

10月18日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は17度くら

い。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ（5）、カワウ（1）を見つけた。昆虫は、キチョウ（1）、ヤマトシジミ（3）、アキアカネ（1）、エンマコオロギを見つけた。植物は、アキノエノコログサ、アキノノゲシ、ヨシ、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサを見つけた。

10月24日（土）午前11時頃、天気は晴れ（風なし）、気温は18度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリを見つけた。昆虫は、キイロスズメバチ（1）、ヤマトシジミ、チャバネセセリ（1）を見つけた。ヤブガラシの蜜を、キイロスズメバチが吸っているのを発見する。植物は、アキノノゲシ、アキノエノコログサ、カタバミ、イモカタバミ、セイヨウタンポポ（1）を見つけた。イロハモミジやサクラの葉が赤や茶色に色づき始めた。ハナミズキの葉が落ち始める。

11月1日（日）午前10時頃、天気は晴れ（風なし）、気温は15度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。野鳥は、カルガモ（5）、ヒヨドリ、シジュウカラ（5）、ヒドリガモ、チュウサギ（3）を見つけた。チュウサギは渡りの途中で、水元を訪れたと思われる。虫は、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、コバネイナゴ（2）、ショウリヨウバツタ（1）、ジョロウグモを見つけた。植物は、ヨシ、キンエノコロ、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、チカラシバ、ヒメジョオン、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、イヌタデ、オニノゲシ（2）を見つけた。クヌギやシラカシ、コナラの実を見つけた。ハナミズキは紅葉し、イロハモミジも一部紅葉していた。

11月15日（日）午前10時頃、天気は晴れ（風なし）、気温は18度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ（1）を見つけた。昆虫は、オンブバツタ（1）、ベニシジミ（1）、ヤマトシジミ（5）を見つけた。コオロギの声は聞くことが出来なかった。植物は、オギ、ヨシ、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサを見つけた。サクラは落葉し、ケヤキが紅葉した。一部は散り始めた。

11月29日（日）午前8時頃、天気は晴れ（風なし）、気温は10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリ、オナガ（6）、ムクドリ（2）を見つけた。植物は、アメリカセンダングサを見つけた。サザンカの花が咲き、紅葉もすすんでいる。イチョウは黄色に、イロハモミジも赤色に、ケヤキも赤茶色に紅葉した。一部は落葉してきた。

9・10・11月と秋が深まり、1年で一番いい季節を迎えた。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症が第3波となり、紅葉の季節が台無しになっている。北海道・首都圏・関西圏・中京圏を中心に感染拡大が危機的になって、家に巣ごもり状態の人も多くみられる。だが、子どもたちは元気に鬼ごっこをしたり、落ち葉でチョウやトンボを作って遊んでいる。希望である。（11月29日）

自然環境レポート 9～11月の巻

調査区 5

佐々木 定治

この地球に生き物いきいき 自然の恩恵



9/10 カラスウリの花水元2丁目



9/15 ナミアゲハの幼虫3齢 水元2丁目



9/20 ナミアゲハ幼虫終齢 水元2丁目



10/5 ゲンノショウコ 水元3丁目

純白のカラスウリの花は薄暗くなる夕べには、絹糸で編んだレースの網掛け似た咲き方をしています。野辺を散策をして、感動した小学生の頃のカラスウリを思い出しました。ナミアゲハの幼虫は自宅の夏蜜柑の葉で発見しました。この夏蜜柑は、実を食しその種を土に埋めたものが発芽し、それなりの樹木に成長しました。種から成長した樹木には実がなりません。しかしナミアゲハはこの葉に産卵したのです。自宅にいながらにしての観察ができました。

下痢止めや胃腸病に効果がある現れるところからきているゲンノショウコは、「実際に効く証拠」を意味し、「現(験)の証拠」と漢字書きにされます。この地球には様々な生き物が生息しています。美しくもあり、暮らしをしていく上でありがたくもあり、何とも力強くもあり、その恩恵に感謝です。

夏から秋そして・・季節が・・



10/13 アマガエル 四つ木4丁目↑

11/24 ジュズダマ 水元3丁目↓



11/25 ヒメアカタテハ 水元3丁目↑

イヌタデ↓



10月13日のアマガエルは、私が科学部の支援をしている中学校の観察箱で、撮影したものです。アマガエルは生きた小虫を食べます。この日はクモを餌にしていました。飼育の適切温度は22～27度前後、適切な湿度は70～85%前後です。適度な湿度と気温を保つためにも、乾燥しやすい時期にはこまめに霧吹きをして湿度を保つ必要があります。

11月25日のヒメアカタテハですが、久々に発見しました。幼虫はキク科のハハコグサ・ヨモギ等を好むようですがこの日はシュウメイギクに止まっていた。

11月24日のジュズダマは、最近あまり見かけなくなりましたが、水元3丁目にはあるのです。「お手玉」や「ジュズ」飾り等、遊び方も様々にできます。東南アジアを原産地とする「イネ科」の多年草です。かなり古い時代に日本に来たものが野生化したものです。基本的には、水辺の日当たりの良い場所を好んで生息します。

11月25日のイヌタデは一年草でヤナギタデに対して辛味がなく、役に立たないことでこの名前と呼ばれます。別名アカノマンマとも言われています。これも子ども達の「ごっこ遊び」に活用されます。季節の移り変わりは、自然の生き物と共に刻々と変化しています。ヒメアカタテハがここに出現することは、地球温暖化とも関係があるのかも知れません。今後も観察を継続していきます。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2020年9月12日

私の脳内スーパーコンピューターがはじき出しました。

(面白くない冗談、うそ、不謹慎、妄言、非科学的な内容です。真剣には読まないでください)

室内や電車の中で、吐き出した息がマイクロ飛沫となって、どう漂うかをスーパーコンピューターでシミュレーションした結果を TV で放送していました。

しばらくした後、この頃、コロナウイルスの感染も収束気味だけれど「ソーシャルディスタンスも収束気味だなあ。」と思っているとき、私の脳内スーパーコンピューターがはじきだしました。

吐く息 >> マイクロ飛沫 >> PM2.5 は 2.5 マイクロ以下の漂うもの >
> タバコには PM2.5 が含まれていて有害だ

そうです。オッサンたちが喫茶店の分煙室でタバコを吸って吐き出していた、あの煙こそが、目で見え鼻で嗅いで確認できるスーパーコンピューターで計算した衝立のあるオフィス内の飛沫の流れに近いものではないかとはじき出したのです。

電車内のマイクロ飛沫が漂う動きも、「ああ、子供のころ長距離電車に乗ると会社帰りの人が酒を飲みながらタバコを吸っていて、結構臭かったっけ。」とはじき出しました。これらを思い出したら、皆ソーシャルディスタンスの重要性に気付き直し、コロナウイルスの感染予防に役に立つ可能性もあるとさえ思えてきます。

近距離で衝立なしで、正面でオッサンがタバコを吸っていたら、それはもう間接キスに限りなく近いですね。喫煙室でタバコを吸っている人が複数人いたら相当においいます。時々クラスターが発生することがあるのは、「あの煙くらい濃いのを吸っているからかも」と思いました。換気の大切さに気がきました。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2020年10月24日

ロックンロールと桜

ロックンロールのコンサートと桜の花見。このコロナ禍で双方制限されたものです。

激しいロックミュージックのコンサートの話が音楽誌に出ている、その本が何かはもう忘れてしまったのですが、興奮しすぎた人がトラブルを起こしたり、人がステージ近くに押し寄せたりしてドミノ倒しが起こったりといったトラブルが起こらないように、臨機応変にスローテンポのあまり興奮しないような曲を混ぜてコンサートを運営しているそうです。

音楽では、ボサノバなども理由は複雑なようですが、盛り上がりすぎないような音楽として作られたようです。

経済的など様々なところで厳しい状況ではありますが、現在、世界はコンサートでいうところのスローテンポのバラードが流れている状況だと思って前向きに生きるしかないかなと思いました。また楽しい盛り上がる曲が演奏されると信じながら。

桜が見られないのも、それぞれの近所でそれぞれの季節のいろいろな花を楽しむ良い機会だととらえています。

きっとお気に入りのキレイな花が見つかると思います。

10月の今は紅葉ですね。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2020年11月8日

コロナ禍での工夫をひとつ

どのニュース番組だったかは記録してないので出典を書けず、科学的根拠を示せるわけではないのですが、この冬のコロナ対策として、暖房して部屋を暖めても何十分に1回、部屋の窓を2か所、風が通るように開けて換気をするように勧めていました。

その話を聞いたとき真っ先に気になったのが（またどのニュース番組だったか記録していない）、イギリスでは研究の結果、室温が18℃を下回ると高齢者の倒れるリスクが急激に上がるため、家全体を法律で18℃以上に保たなければならないと決められているという事でした。

対策で提案できるかなと思ったのは、私は一時期アウトドアで車中泊とかをしていた経験で、厚着をしたまま寝たり、そのまま家の中で生活したりしているのですが、温かいまま布団から出られたり、ちょっと外に出られたりと便利です。

冬はのどがガラガラにならない程度に暖房する程度です（マスクをしたまま寝る対策をとっている方もいらっしゃるようですが）。欠点は上着の背中がすれて傷んでしまうことで、高かったコートを1着ダメにしましたが一度やってしまうと楽でやめられません。

日本には布団がわりに全身をおおうはんてんの様なカイマキというものが伝統的にあり、老人はそれを着て寝ていた経験がある方もいらっしゃるようで、そういうのも良いかもしれません。

葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2020年9月～11月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に5-24、5-26	町名：東金町
-----------	-----------------	--------

10月4日（日）東金町4丁目 第一病院の桜（ソメイヨシノ）

ふと上を見上げた時に、新緑と開花しているソメイヨシノが目に入った。こんなことがあつたらうか。毎日の通勤ルートだが、これまでこのような現象は見たことがない。すぐにスマホで写真に納めた。



11月6日（金）東金町6丁目

朝6時30分、葛西神社からジョウビタキの独特の鳴き声を確認。いよいよ冬の到来だ。

11月14日（土）水元公園

園内のアメリカ原産のモミジバフウが紅葉の見頃となり、公園を訪れた多くの人々の目を楽しませていた。周りにも紅葉の写真を撮るために、多くの方々がスマホで写真を撮っていた。

遠方に行かなくても、十分紅葉を楽しむことができた。



11月29日（日）水元公園

水元公園内の**カツラ**の木は殆ど落ち葉を落としていたが、一方で新緑が芽吹いているものもあった。

前ページ 10月4日のソメイヨシノといい、こうしたことはごく普通のことなのか、昨年水元公園などでケヤキが11月に新緑が芽吹いていた。



木のコブをみつけ

氏名	K・N		町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）						
鳥類は大橋周囲～小合溜を観察						
令和2年	タンポポ	シロツメ	サギ類	カモ類		
9月15日	10	多数	2	50		
10月14日	9	多数	4	100		
11月21日	2	0	1	200以上		



植物情報

- ① 9月15日「街路樹が見事」一東金町4町目の路地
- ② 11月21日水元公園の観察地は草刈直後でタンポポも2個だった。紅葉している木もあったが、コブのある木を発見、側にはキノコ多数の木もあった。(写真)
- ③ どんぐりが多数落ちていた。地方では不作で熊が里に柿を食べに来るなど話題になっているが、令和元年の水元ふれあいルーム通信では、沢山の虫が卵を産み、幼虫が餌にする。その結果、木に成長する数が調整されるという話があった。(写真)

街路樹のいけ花→



キノコ↑



どんぐり→



9月の公園雑草→11月草刈りでなくなった



11月のカモ類



友人から「あなたのように同じ場所を観察している人の記事を送るね」と新聞の天声人語欄が届いた。内容を抜粋させてもらおうと、

『横浜在住でセイタカアワダチソウの開花時期を24年記録、うち21年間は9月末日からの4日間に収まった』という。私の西洋タンポポ観察では、辞書には3月～10月開花が、ここ数年は寒い12月や1月も数は少ないが1年中開花と変化がみられる。

最近テレビで、気象庁が57種類の『生物季節観察』を植物のみ6種?に変更が話題になっている。温暖化で植物は二度咲きや従来の季節とはずれた開花をみせているが、花や実、葉を食料にしている昆虫が影響を受けているかもしれない。

記事は最後に『カエルが身近にいて、毎年律儀に生を繰り返していた頃のことを思う。私たちの暮らし方が生き物を消していく。速度はどこまで増しているのだろうか』貴重な問題提起だ。これを実感するには、場所を定め、定点観察を繰り返していると「あれっ」と、思いがけない変化を発見するかもしれない。

地道なことだが、コロナで外出も遊びも遠出ができない今、開始するチャンスかもしれない。小さな虫や雑草があなたの観察の目を待っているかも……。



11月のタンポポ（地面に近い）



何の鳥？

ムクドリです。（校正担当より）

季節の写真集 (9月～11月)



「クズ」
9/12 区北西部
名前：石鍋 壽一



「ヒドリガモとアサザ」
(ごんぱち池)
名前：高橋 雅子



「ヒキガエル」
9/17 宝町
名前：神山 隆敬



アオスジアゲハ
「きれいでしょ」
9/10 新宿
名前：瑛ちゃん



「橋の跡」
9/29 東堀切 名前：R

季節の写真集 (9月~11月)



「カラスウリの花」
9/10 水元2丁目
名前：佐々木 定治



ヒキガエル
「今日のごはん何しよう」
9/10 柴又 名前：瑛ちゃん



「しそ開花」
9/30 お花茶屋
名前：Ryu

「ヤブマメ」
10/18 水元公園
名前：石鍋 寿一

「キンモクセイ」
10/6 白鳥
名前：Ryu



季節の写真集 (9月~11月)



「かくれんぼ」
10/28 お花茶屋 名前：R



ハナアブ
「ひなたぼっこ」
11/30 金町
名前：瑛ちゃん



「オオバン」
11/1 区北西部 名前：石鍋 壽一



「初つぼみ」
11/29
お花茶屋
名前：R



「輝く銀杏並木」
11/27 西亀有せせらぎ公園
名前：Ryu

ふゆごう まめちしき 冬号の豆知識



「ツゲノメイガ」 P.3

ツゲノメイガですが、オスは腹部先端に毛があるのですが、写真ではオスかメスかわかりません。

「ヒメアカタテハ」と「ツマグロヒョウモンのメス」の見分け方は、前翅の模様と後翅の模様を比較します。

ヒメアカタテハは、途中で途切れているのに対して、ツマグロヒョウモンのメスは、前翅の白い模様がつながっているのが特徴です。

また、後翅の淵の黒い模様も、ヒメアカタテハは途切れていますが、ツマグロヒョウモンは連続しています。



「ヒメアカタテハ」 P.10



ツマグロヒョウモンのメス



「ハナアブ」 P.17

ハナアブはナミホシヒラタアブです。よく似たもので（フタホシヒラタアブ）があります。



今回は、「ヒメアカタテハ」と「ツマグロヒョウモンのメス」の見分け方を掲載いたしました。写真をよく見比べると分かるので、ぜひ調べてみてください。

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-278

調査次数 調査日 地点	280			備 考	
	2020/9/5				
	本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	1 30			
2	オ イ カ ワ	4 91-115			
3	カ ダ ヤ シ		14 23-40	12 7-20	特定外来生物
4	コ			2 12-15	
5	コ ク チ バ ス	7 119-353			特定外来生物
6	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 63			
7	ス ゴ モ ロ コ	1 22			
8	ス ミ ウ キ ゴ リ		2 50-57		
9	ツ チ フ キ	3 77-86			
10	デ メ モ ロ コ	1 21			
11	ド ジ ョ ウ		1 26		
12	ニ ゴ イ	1 22			
13	ヌ マ チ チ ブ	21 24-71			
14	ボ	18 108-200			
15	マ ハ ゼ	70 58-114			
16	メ ダ カ		5 20-23	4 12-17	
17	モ ツ ゴ	1 54			
18	ワ タ カ	1 250			
計		13種類130個体	4種類22個体	3種類18個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて18種類170個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温32.5℃、水温 本流29.8℃、新八水路29.0℃、新八ワンド30.8℃
（15：00頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 減水して速い流れの中で数尾のボラが複数人の投網に入った。海ではあり得なさそうな流速に対応している姿に驚いた。大きなボラを水槽に入れると、暴れ回って他の魚を傷めますし、排泄物で水を汚すため、現地で計測して放しましょう。そのためにもメジャーを持って川に入って下さい。（YK）
- ・ 水位が下がった水際を、普段は気づきづらい、2~3cmの魚の群がけっこう泳いでいるのが見えました。採れたコクチバスの口から、魚の尾がはみ出していて、引っ張りだしたら15cmはありそうなニゴイでした。自分の体長の半分近いものをのむとは。（KI）
- ・ 大変暑い中でしたが、水位が低く、普段見られないような大きな魚もたくさん取ることができとても嬉しかったです。特に多かったのは岩場にいるブラックバスです。私は2匹も逃してしまいました。外来種を駆除するために、今後も活動を続けていきたいです。（AN）
- ・ 予報にあった雷雨には合わなかったが予想外の暑さで疲労困憊、魚の写真を撮れず。

【今後の調査日】 10月3日(土) 11月1日(日) 12月12日(土)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」 【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-279

調査回数 調査日 地点		281			備 考
		2020/10/3			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	1 37			
2	ウ キ ゴ リ		3 53-66		
3	オ イ カ ワ	1 88			
4	オ オ ク チ バ ス	2 318-375			特定外来生物
5	カ ダ ヤ シ		12 12-31	103 8-58	特定外来生物
6	ク ロ ダ ハ ゼ		3 24-30		
7	コ ク チ バ ス	1 130			特定外来生物
8	ツ チ フ キ	1 100			
9	ヌ マ チ チ ブ	10 20-61			
10	ボ ラ	3 146-204			
11	マ ハ ゼ	14 82-105			
12	メ ダ カ		1 27	12 13-31	
計		8種類33個体	4種類19個体	2種類115個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて12種類167個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り時々晴れ、気温26.6℃、水温 本流23.3℃、新八水路22.0℃、新八ワンド23.6℃（14:30頃測定）

【参加者コメント】

- ・ ここしばらくまとまった雨がなかったためか、行徳の水閘門を長くは開けないようで終日水位は高く、本流の水は濁り、採集には不向きな状況だった。鰓蓋や胸鰭が白く壊死しているヌマチチブを再び見掛けるようになった。数年前に拡がり一度なくなったが、再流行し始めたようだ。（YK）
- ・ 花屋で、ウォーターマッシュルームなどの名前で売られている水草が、本流にひと抱え流れついていました。見える限り除去しておきましたか、定着しませんように。（KI）
注：ウォーターマッシュルームは、生態系被害防止外来種リストの「重点対策外来種」です。
- ・ 投網に全く魚が入らなかった。高水位で流れがなく、あたり一面にゴミが浮いてる。手網でヌマチチブを探したがあまり採れなかった。（SI）

【今後の調査日】 11月1日(日) 12月12日(土)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-280

調査次数 調査日 地点	282			備 考
	2020/11/1			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	3 22-38		
2	ウ キ ゴ リ		1 67	
3	オ イ カ ワ	3 75-82		
4	カ ダ ヤ シ		73 11-38	115 6-31 特定外来生物
5	ギ ン ブ ナ		2 46-65	
6	ク ロ ダ ハ ゼ	2 25-26	1 28	
7	コ イ		1 43	
8	タイリクバラタナゴ		4 21-30	
9	ド ジ ヨ ウ		1 46	
10	ヌ マ チ チ ブ	14 22-56		
11	ボ ラ	2 141-171		
12	マ ハ ゼ	1 112		
13	メ ダ カ		15 15-36	26 13-26
計		6種類25個体	8種類98個体	2種類141個体

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて13種類264個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れのち曇り、気温19.6℃、水温 本流16.8℃、新八水路14.0℃、新八ワンド16.9℃（14:30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.85m (12:00)1.85m (14:00)1.85m

【参加者コメント】

- ・ ワンド周辺と、本流と繋がる水路沿いの枝を伐った。水路をスムーズに通過するためにはまだまだ整備が必要だ。
 クロダハゼ（橙色型ヨシノボリ）の小型個体が本流と水路で採れた。これまでは年間で数個体しか見掛けなかったのが、近辺で繁殖したのかもしれない。（YK）
- ・ 風がなく、午前は日照もあったためか、オイカワがゆっくり水面でもじっていました。高山さんが草刈り頑張ってくださり、久しぶりにワンドの水面が外から見られるようになりました。（KI）
- ・ 魚の種類、水路（8種）が本流（6種）を上回った。水位が高かったことと関係ありそう。採集のし易さと採集作業量との関係だと推定されます。（SI）

【編集者コメント】

今回、江戸川の水位情報を掲載しました。一番近い観測所が2.6km下流の市川でした。

【今後の調査日】 12月12日(土)

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237 (直通)

自然環境レポーター自然観察会を行いました！

令和2年12月5日(土)自然環境レポーター自然観察会を行いました。この日は、雨が降ったり止んだり気温も低く、行くべきか悩んでおりました。もし、雨であれば田中先生に日頃レポートで悩んでいることや、意見交換が出来ればと思い決行いたしました。参加して下さいました皆様、寒い中ありがとうございました。この時期でしか見られない現象、今年の樹木に関する異常事態等、とても勉強になりました。



次回は、令和3年3月に(仮)写真講座(初級編)を開催する予定です。個体の撮り方、ポイントなどを教えていただき、まずは、記録として写真を撮ってみてはいかがでしょうか。デジカメ、携帯電話等お持ちでない方はご相談ください。ご参加お待ちしております。

「かつしか環境・緑化フェア2021」

展示用パネル作成のボランティア募集について☆

令和3年6月13日(日)に「かつしか環境・緑化フェア2021」を開催いたします。このイベントに、「自然環境レポーターの活動報告スペース」を設ける予定です。そこで展示用パネルの作成をしていただける方を大募集します！！

<パネル作成例>

- ★活動の成果
- ★写真
- ★植物、昆虫等のクイズ問題 ほか



※皆さんで話し合いながら、楽しんで活動をしていきたいと思っています。ご参加お待ちしております。活動は3月から5月(月1~2回程度)です。募集は後日郵送いたしますので、ご協力お願いいたします。

研修会で先生が話していた魚類調査です。



★新八水路で魚類調査を行います★

日時 2021年 1月30日(土)、2月27日(土)、3月27日(土)
午前10時～午後4時ごろ

場所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。

持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス

◆詳しくは、「新八水路魚類調査」で検索し、ホームページをご覧ください。

HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)

<かつしかっ子探検隊で行った魚類調査の様子>



魚類調査は、誰でも参加できます。投網の投げ方も教えてくれるので、挑戦してみたい方が多いでしょう。獲れた魚は、水槽に入れて記録します。魚類調査に興味のある方は、ぜひ参加してみてください♪

参加される方は、事前に環境課(5654-8237)までご連絡ください。

ちなみに、水辺のふるさとかつしかに毎回、「**魚からの便り**」で載せているのが、調査報告です。



気象庁からのお知らせです。



生物季節観測の種目・現象の変更について

令和3年1月より生物季節観測を植物の6種目9現象を対象とした観測に変更します。

気象庁では、生物季節観測を昭和28年（1953年）から全国で統一した観測方法で開始し、令和2年1月現在、全国の気象台・測候所58地点で植物34種目、動物23種目を対象に、開花や初鳴き等を観測しています。

本観測は、季節の遅れ進み、気候の違い・変化を的確に捉えることを目的としておりますが、近年は気象台・測候所周辺の生物の生態環境が変化しており、植物季節観測においては適切な場所に標本木を確保することが難しくなってきました。また、動物季節観測においては対象を見つけることが困難となってきました。

このため、気候の長期変化（地球温暖化等）及び一年を通じた季節変化やその遅れ進みを全国的に把握することに適した代表的な種目・現象を継続し、その他は廃止することとします。については、生物季節観測は、令和3年1月より次の6種目9現象を対象とします。

- あじさいの開花
- いちょうの黄葉・落葉
- うめの開花
- かえでの紅葉・落葉
- さくらの開花・満開
- すすきの開花

※詳しく知りたい方は・・・

気象庁のホームページ→「生物季節観測 配信種目」で検索→配信資料に関する技術情報→生物季節観測報告気象報の配信種目の変更について→配信資料に関する技術情報題547号をご覧ください。

～冬号でご協力いただいたみなさま～

Rさん、石鍋壽一さん、瑛ちゃん、江戸川の小鮒さん、
K. Nさん、神山隆敬さん、佐々木定治さん、散歩の花子さん、
高橋雅子さん、田村ひろ子さん、T. Kさん、藤並剛さん、
森本龍司さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、
RYUさん、自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第315号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第267号)
令和2年12月末日 発行
葛飾区環境部環境課自然環境係
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1
Tel(3695)1111 内線3522~3
直通電話 (5654)8237
fax (5698)1538
校正:NPO 法人水元ネイチャープロジェクト



◆「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。